

第 688 回 新潟放送番組審議会 議事録

— 議題 —

テレビ番組

BSNNEWS ゆうなびスペシャル

おなじ空の下～小千谷とウクライナ 8000 kmの祈り～

<放送日時>5月26日金曜日午前10:25～11:20 放送

令和5年6月28日

**BSN**新潟放送

## 第 688 回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 令和 5 年 6 月 28 日（水）午前 11：00～

2. 開催場所 6 F 会議室

3. 委員の出席

○委員側出席者（敬称略・順不同）

委員長	古賀 豊	副委員長	佐藤 元
委員	石坂 智恵美	委員	三井田 由香
委員	渡邊 信子	委員	広川 和義
委員	馬場 省吾		

○審議番組事前リポート提出者

委員	馬場 幸夫	委員	大橋 未来子
----	-------	----	--------

○放送事業者側出席者

社長	島田 好 久	編成局長	井上 智 美
情報センター長	小 湊 潤		

<説明員> 長岡支社 報道制作部 記者 堀 綾 菜

事務局 金 山 英 功（編成局テレビ編成部部長）

4. 議 題

1 報告事項 令和 5 年 7 月の番組について（各担当）

2 審議事項 「BSNNEWS ゆうなびスペシャル  
おなじ空の下～小千谷とウクライナ 8000 kmの祈り～」  
5 月 26 日金曜日午前 10：25～11：20（放送）について

5. 議事の概要

島田社長のあいさつの後、各担当からの 7 月度番組報告に続いて、  
「BSNNEWS ゆうなびスペシャル おなじ空の下～小千谷とウクライナ  
8000 kmの祈り～」 について審議が行われた。

～番組審議委員の主な意見～

○1年以上追い続け、しかも丁寧な取材ぶりがわかる番組だった。

スタッフにエールを送りたい。

○平和は世界共通の祈りである。この番組は皆の共感を呼ぶ。

○長岡の花火で始まり、長岡の花火で終わる。山下清の言葉と重なり合い非常に中身の濃い、メッセージ性の強い番組だった。

○イリナさん夫婦から過度に何かを引き出そうとするわけではなく、寄り添った感じが良かった。

○「買い物に行ったり、出勤したり、普通の水曜日に(爆撃で)人が亡くなる・・・」心に刺さった。

○ウクライナと日本、長岡花火とウクライナの戦火。対比がうまく描かれていた。

○難民と避難民が差別化されている問題に改めて気づかされた。避難して生活することがどういうことか考えさせられた。

○行貝アナの落ち着いたナレーションが番組に合っていた。

○ウクライナ戦争のニュースを見てもどこか他人事で自分とは縁遠い世界の話だったが、この番組を見て当事者意識が生まれた。テレビができる支援とはこういうことで、視聴者にもこのような変化が生まれたことと思う。

～新潟放送 長岡支社 報道制作部 堀綾菜より～

このたびは大変貴重な機会をいただき、ありがとうございました。私が今回の特番制作にあたって、「人に優しく、事実に厳しく」ということを意識しました。審議会で皆さまからさまざまなご意見・ご感想をいただき、改めてその言葉が強く心に浮かびました。取材対象者と関係を深めれば深めるほど、「事実に厳しく」が出来ているかどうか…、自問自答するのが辛くなる時があります。ただ、どんな時もそこを避けてはならないと感じました。皆さまからいただいた言葉を励みに、今回のテーマに限らず、今後はまた違った番組制作にも精力的に取り組んでいきたいです。

【文責・番組審議会事務局】